



五十六謀星もっちい版

電話占い オーディション 採用の基準

五十六謀星もっちいが審査員を務める際
特に重視するポイント解説！

評価項目の一例

鑑定開始時の挨拶	
声のトーンや雰囲気	
コミュニケーション力	
鑑定結果への気配り	
占術のレベル	
自信の有無・信頼感	
鑑定終了の挨拶	

各項目を5段階で評価
いずれか致命的な点があれば
それだけで不合格とする



主要な評価項目

鑑定開始の挨拶

名前を名乗って明るい声で挨拶をすることは、社会人として最も重要なことですが、オーディションという特殊な環境のためか、うっかりしてしまう人がいます。ここで朗らかな挨拶ができていれば、それだけで高得点です。

声のトーンや雰囲気


できれば、明るいトーンであることが望ましいですが、重厚感や神秘性などでも加点されます。

コミュニケーション力

占いの結果を伝えたい気持ちは大切ですが、1人で一方的に話しすぎると、コミュ力が低く見えてしまいます。相手の話を受けて質問を返すキャッチボールが重要です。

鑑定結果への気配り

占い師としての信念は大事ですが、占いの結果を決めつけてしまう占い師は、好かれにくい傾向にあります。





秘 評価方法

採点基準ごとに点数をつける

会社によって異なりますが、基本的なオーディションでは採点基準ごとに点数をつけて、最後に総合的に評価します。

基準は、前項のものに加えて、言葉遣いの丁寧さ、滑舌の良さ、鑑定の構成の良さの他、サイトによっては写真の評価があります。

一番の決め手

審査員によって、重視するポイントは異なると思いますが、最も重要なのは、お客様とトラブルを起こさない人であることです。占い師という仕事柄、多少とがっていることは許容されます。しかし、文句が多そうだと思われると、採用してもらえなくなります。

決定権者

合否の決定は、審査員が一人で行う場合もあれば、合議によって決まる場合もあります。

所属占い師が審査員をしている場合は、その場で決定せずに、審査項目だけを提出して、最後に社員が判断することがほとんどです。

